

JPDA 9 月定例理事会議事録

日 時：平成 28 年 9 月 14 日（水）午後 1 時 30 分～午後 5 時

場 所：文京シビックセンター(区民会議室) 5 階 会議室 A

東京メトロ丸ノ内線・南北線「後樂園」駅前

出席者：理事 24 名中 20 名（加藤芳夫、田川雅一、青木(入江)あずさ、伊藤 透、井上 聡、牛島志津子、江藤正典、小川 亮、加藤(桑)和美、加藤憲司、小原 司、竹内清高、中越 出、永島 学、中森恭平、信藤洋二、藤田 隆、森 孝幹、八木勇達、山崎 茂)

欠席届（畝野裕司、梅原 真、小川裕子、永田麻美）

監事 2 名中 1 名（時田秀久） 欠席（池田 毅）

議事の経過：

定款第31条(議長)により加藤理事長を議長に選出し、議長は直ちに本日理事会出席者20名を確認、定款第32条(決議)による出席者が過半数に達していることを確認し、定款第34条により議事録署名人が加藤芳夫理事長、田川雅一副理事長、時田秀久監事の3氏であることを確認し、議事に入る。（決裁事項の議案号数はゴシック。）

第 1 号議案 新入会員入会審査の件

※「あの人を会員に」キャンペーンで7月に推薦された下記3名の入会申込書が届いた。

小玉氏から8月1日に、鈴木氏から8月8日に、齊藤氏から8月10日に入会申込があった。

これで、3月・7月推薦者10名のうち6名の方に入会いただくことができた。

本日の理事会までに入会申込み法人1社、個人5人があり、定款6条(会員資格の取得)並に会員規定に基づき入会審査を行い、下記の法人1社、個人5人の入会を承認した。

(1)法人会員（1社）

<西日本>

株式会社サカエ彫巧社（推薦者＝信藤洋二）

(2)個人会員（5名）

<東日本>

川口雅高(かわぐち まさたか)（推薦者＝中越 出）

佐々木 裕(ささき ゆう)（推薦者＝江藤正典）

高橋美絵(たかはし みえ)（推薦者＝加藤憲司）

塚本ちあき(つかもと ちあき) (推薦者=田辺慎二)

土肥圭太郎(どい けいたろう) (推薦者=重田元恵)

第2号議案 退会承認の件

本日の理事会までに退会届を提出した法人会員3社、個人会員3人の退会を承認した。

(1) 法人会員 (3社)

<東日本>

株式会社エムオークリエイティブ (仕事量が極端に減ったため) [9月末退会希望]

株式会社モンテール (協会活動に参加していないため) [7月末退会希望]

<西日本>

株式会社アレックス・クリエイト (一身上の都合により) [7月末退会希望]

(2) 個人会員 (3人)

<東日本>

大地康子 (法人閉鎖のため) [11月末退会希望]

須永優花 (出産を控え、退職のため) [7月末退会希望]

<中日本>

三浦正紀 (高齢と体力減少で、デザイナー引退により) [8月末退会希望]

第3号議案 協会名義使用承認の件

- ・新規に後援名義使用依頼のあった下記1件を承認した。

新規：学生照明展への後援名義使用依頼

主催 学生照明展実行委員会

- ・山崎事務局長より下記の9件については、これまでに協会名義使用承認実績があることから、既に回答済みであることが案内された。

(1) 後援名義の使用依頼 4件

(2) 協賛名義の使用依頼 1件

(3) 共催名義の使用依頼 4件

第4号議案 正副理事長報告について

加藤理事長、田川副理事長から下記の報告があった。

加藤理事長報告 ・8/3 D-8 運営会議(平成27年度決算、28年度予算案)に出席。

・8/30 (公社)日本包装技術協会・2016日本パッケージングコンテストの表彰式に出席、JPDA賞を授与。

第5号議案 JPDA創立60周年委員会組織(案)及び記念事業・推進イメージについて

標題の議案に関しては、全体概要に関しては加藤理事長から、創立60周年委員会組織(案)に関しては田川理事から、記念事業・推進イメージに関しては井上理事から説明があった。

- ・全体の推進委員長を加藤理事長が担当し、委員会事務局を東日本地区の田川理事と西日本地区の井上理事が共同で担当し、60周年記念各委員会事業(展覧会・国際交流・コンペティション・デザイン保護・調査研究委員会)、60周年記念式典(国内交流・教育・広報・インターネット委員会)を中心に推進する。
- ・日本のパッケージデザインの魅力を発信する「博物館展示(凸版印刷博物館と共催、特別プロジェクト・出版・広報・アーカイブ委員会)」「出版物・カタログ(出版・広報・アーカイブ委員会)」は、特別プロジェクトと各委員会で推進する。
- ・60周年記念事業・推進イメージに関しては、2016年度(理事の参画意識を高め一体感の流れを作る)、2017年度(総会で構想発表)、2018年度(総会で構想発表、会員に計画協力要請)、2019年度(総会で実施内容発表、会員に準備の協力要請)、2020年度(総会で会員にイベント参加、協力要請)を考えており、「構想→計画→実施」を推進手順としてしっかりと纏めていく。
- ・上記の構想に関して「全体テーマ」が欲しいが、全体テーマ策定に当たっては、2020年はオリンピックイヤーであり、「世界がテーマ」になる中で「日本のパッケージデザインの魅力発信」をどのような形でテーマに据えるかを十分検討して欲しい旨の要請があった。

第6号議案 熊本城災害復旧支援募金の結果について

山崎事務局長から熊本城災害復旧支援募金の結果が案内された。

- ・総額：77.1万円(内訳：法人12件・42.8万円、個人25件・34.3万円)
 - ・支援金の拠出先：熊本市が開設している熊本城災害復旧支援金専用口座
- *今回は、募集のスタートが少し遅かったこともあり、既に、被災された皆様に向け義援金を拠出された方も多くおられたようである。

第7号議案 委員会報告について

<報告事項>

○国内交流

- ・加藤(桑)理事から、金沢デザイン会議の参加申込者は13日現在93名で、目標の100名に近

づきつつあることが案内された。

○国際交流

- ・森理事から口頭と資料に沿って、下記の2点が報告された。
 - ・サンフランシスコ・ポートランドの海外視察企画は、11月5日～13日に実施の予定である。
 - ・アスパック事業に関して、メディアからの取材スケジュールが案内されると共に、アスパックWEBサイトのオープン及びメディア連動・SNS連動の強化を図っている。
 - ・アスパック事業への支援募金を募っており、法人では数社の目途が立っているが、個人の支援も受け付けているので協力して欲しい。
 - ・東京パック視察で来日するスウェーデン学生と10月5日に懇親会を開催予定である。

○コンペティション

- ・小原理事から資料に沿って、8月29日・31日に行われた日本パッケージ大賞コンペ審査の実施結果が案内された。

1. 審査会の概要

(1) 今回の改善点

①「カテゴリー」の整理

各カテゴリーの定義を出来る限り明解にし、審査会以前にコンペティション委員会にて全作品のチェックを行うステップを設けた。

②「販路分け審査」の導入

5つのカテゴリーで大きく2つの販路分けを行い、審査を実施した（「量販店、CVS」、「対面販売、専門店、通販」）。想像以上に性質が違うことが明解になり、入賞作品も各販路で贈賞することになった。その結果、入賞点数が多くなった。

③「審査タブレット」の導入

審査員が投票しやすくなる、集計の精度が上がる等の審査効率化を目的として導入。

(2) 応募作品、入選・入賞作品数実績

14カテゴリー（うち5カテゴリーにて、販路違いで2グループ分け）

- ①応募総数：1,277点（前回1,434点／前回比-157点）
- ②入選点数：452点（前回414点／前回比+38点）※入賞作品含む
- ③入賞点数：56点（前回36点／前回比+20点）

2. 今後の活動

- (1) 入選・入賞作品のWEB速報（大賞は贈賞式まで公表せず）。9月末の公開予定。
- (2) 次回に向けた「審査会」レビュー実施。課題を抽出し、次回の改善へつなげる。
 - ・入賞点数が多すぎる感がある。（販路わけによる授賞数の増加）
 - ・VIカテゴリーの作品が多くなりすぎている。（展示スペースに問題あり）
 - ・自分に関わる作品に投票しない。このことで、投票結果の公平性に問題ないか？

(3) 贈賞式の準備。 トロフィー・賞状の制作。贈賞式準備を進める。

※開催場所) 東京ガーデンパレスホテル

日時) 2017年1月17日(火) 贈賞式/懇親会

○展覧会

- ・牛島理事・中森理事から資料に沿って、「日本を包む」展のオープニングトークショーの開催と、展覧会場で「簡易カタログ」を100円で販売することが案内された。

○出版

- ・山崎理事から口頭で「年鑑日本のパッケージデザイン」作成に向け、コンペ審査員の皆さんにコメント作成を依頼している旨が案内された。

○広報

- ・永島理事・田川理事から口頭で、PD24号を発行したばかりであり、今はゆっくりしている旨の案内があった。また、PD24号のインタビューでフォントのモリサワを訪問した時、モリサワ側は既にJPDAに入会しているものと思っていたという誤解に気付き、改めて入会希望が寄せられた。

○インターネット

- ・中越理事から資料に沿って下記の案内があった。
 - ・JPDAサイト トップページ及び会員専用ページのリニューアルを行った。
会員専用ページへのアクセスコードを変更、会員メールで通知した。
 - ・PD24号掲載の平成28・29年度役員紹介(顔写真)をJPDAサイトの組織と運営ページにおいても紹介した。
 - ・検討課題：サイト構成の見直し/新規コンテンツの検討(来年度以降に向けて)
今後、期待されるインターネットメディアでの情報発信とは？(公益性も念頭に)

※理事長・副理事長・理事からの意見として、インターネットの即効性を念頭に置きながら広報との連携を強化すると共に、両方を積極的に活用していくべきである。

また、新VIに関して、JPDAのロゴと日本パッケージデザイン協会は極力同一画面上で表示して欲しい。

○調査研究

- ・加藤(憲)理事から口頭で下記の報告があった。
 - ・法人会員拡大策として、前理事の名久井氏の考え方を参考に「法人に魅力的な活動とは？」のアンケート調査を計画しており、現在アンケートを作成中である。
 - ・個人会員向けの「あの人を会員に」に倣って、「あの法人(企業)を会員に」を検討中である。
 - ・JPDAサイト「情報の森」において、8月31日に「エコとUDに関する情報」を発信した。

○デザイン保護

- ・小川(亮)理事から資料に沿って下記の案内があった。

1.) HP委員会レポートページの更新

6月1日【Vol.79】「七夕の宵に、事例からやさしく学ぶ・役立つ知財保護セミナー」

- ・情報発信「新人クリエイター必修！事例から学ぶ・役立つ知財保護」セミナーのお知らせ
- ・活動報告「D-8デザイン保護研究会 参加報告」

6月27日【Vol.80】「デザインスケッチは「商品の形態」ではない」

- ・情報発信「デザインスケッチは「商品の形態」ではない…不正競争防止法の模倣禁止規定では保護されない…」
(特許業務法人レガート知財事務所 弁理士 峯 唯夫氏)

- ・活動報告「平成28年度第2回JPDAデザイン保護委員会/6月2日(木)」
議題1. 7月7日セミナー実施についての打合せ
議題2. 11月セミナーについて

8月1日【Vol.81】「知財トラブルを未然に防ぐために」

- ・情報発信&活動報告「知財トラブルを未然に防ぐために<事例から学ぶ！役立つ知財保護>」

■セミナー実施概要

日程：7月7日(木) 18:00受付開始18:30開講20:30終了

講師：松井宏記弁理士レクシア特許法律事務所代表パートナー

会場：DIC株式会社本社2F大会議室(東京都中央区日本橋3-7-20)

参加者：58名(会員及び一般45名、招待者1名、デザイン保護委員10名及び関係者2名)

(アンケート調査結果あり：良く理解できた+まあまあ理解できた 91.1%)

- ・委員会ヒトコト通信

11月14日「登録公報の調査・検索を経験して学ぶ」セミナー予告

9月1日【Vol.82】「量産される実用品のデザインと著作権保護」

- ・情報発信「インダストリアルデザインの「著作権」保護」
(特許業務法人レガート知財事務所 弁理士 峯 唯夫氏)
- ・活動報告「D-8デザイン保護研究会 参加報告」

2.) JPDAデザイン保護委員会実施について

(詳細に関しては、JPDAウェブサイトを確認ください。)

※現在開催中の「日本を包む」展の展示作品に関し、(一社)日本デザイン保護協会に寄託申請を行った。このことによって、類似デザインが出てきた場合には、すでに展示会に出品された作品であることが証明され、対抗することが可能となった。

○東北プロジェクト

- ・江藤理事から口頭で、「おいしい東北パッケージデザイン展2016」に関し、エントリー締切が10月10日(月)、作品提出締切が10月24日(月)等を含めて概要が案内された。JPDAからは、審査委員長に理事長の加藤芳夫氏、審査委員に理事の梅原真氏が参画の予定である。

○アーカイブ

- ・青木(入江)理事・信藤理事から資料に沿って60周年記念事業に向けてのアーカイブ委員会活動計画書(案)の案内があった。
 - ・収集:継続活動として日本パッケージデザイン大賞の作品をコレクション(大賞・金賞のみ)(コンペティション委員会)
追加活動として1960年~85年を象徴するパッケージデザインをリストアップし、コレクション開始
 - ・研究・記録:アーカイブ関連資料及び存在するデザイン資産を記念本として出版(出版委員会)
 - ・展示:アーカイブ関連資料及び存在するデザイン資産を記念展示(展覧会委員会)
※田川副理事長から、常設展示は積極的に推進すべきであり、60周年記念事業の目玉的存在になるかも知れない旨の意見が出された。
※信藤理事から、アーカイブ作品をインターネットに公開して行きたいと考えている。そのことで、見られた方の意見等が収集でき今後の参考になると思う。また、リスクを伴うが社会貢献策として作品の貸出を検討していきたい。
 - ・基盤整備:アーカイブ作品の法的及び税務上の諸問題への対策を検討しておくべきである。また、常設展示の固定費用の捻出方法に知恵を絞る必要があることが課題としてあげられた。

○東日本

- ・伊藤理事から口頭で、東日本トークセミナーを12月1日(木)に多摩美出身の3名の講師を招いて開催する予定であることが案内された。会場はいつもの「3331 Arts Chiyoda」で開催予定。

○中日本(愛知・岐阜)

- ・八木理事から口頭で、9月末退会予定・会員歴50年のパブリックデザインワークス・三浦正紀氏を講師に迎え、セミナーを開催しようと計画中である旨が案内された。

○西日本

- ・井上理事から口頭で、9月10日(土)に愛知県の犬山にある粘着工場(シバタセスコ株式会社)を参加者24名で訪問したことが案内された。

○その他

- ・加藤理事長から、来年の11月理事会で選出する「パッケージデザイン功績賞」に関し、昨年12月9日の内閣府立入検査で指摘のあった「審査には外部審査員を参画させるべき」に対応し、そろそろ外部審査員の検討に入る必要がある旨の指摘があり、検討を早め12月7日開催の理事会に正副理事長と調整の上、事務局から提案することとした。

第8号議案 事務局報告について

- ・山崎事務局長から、下記の案内があった。
 - ・会員状況について
 - ・展覧会「現代日本のパッケージ2016」について
 - ・協会名義使用承認について

第9号議案 次回理事会開催スケジュール

11月9日開催予定の定例理事会は国際交流委員会主催の海外パッケージデザイン視察企画(11月5日～11月13日)と日程がバッティングしていたため、開催を12月7日(水)に繰り下げたのでご注意ください。

日時：平成28年12月7日(水) 午後1時30分～5時

場所：(未定)決定次第、連絡の予定。